

平成 30 年度 旭川土地家屋調査士会 事業報告

総務部

1. 会員の指導及び連絡に関する事項

- ①主に月例通信を使って連絡を行った
- ②連合会からの文書を配布した

2. 会則、諸規則・規程の見直し及び制定

- ①「事業分量負担金規則」の一部改正をした（平成 30 年 5 月 18 日 定時総会 承認）
- ②「情報公開に関する規則」及び「情報公開に関する細則」の一部改正案について検討した
- ③「危機管理マニュアル」の制定について検討した

3. 旭川境界問題相談センターの運営に対する支援

- ①境界問題等の相談者に対応し、ADRセンターへの連絡等を行った
- ②ADR研修会への協力を行った

4. 会館の維持管理

- ①駐車場の除雪…12月～3月（シルバー人材センターに委託）
- ②会館屋根の雪庇下ろし及び玄関屋根の雪下ろしを行った（石川建設に委託）
- ③会館駐車場入り口付近の排除雪を行った（トータルプロジェクトムライに委託）

5. 再委託・分離発注への対応

- ①「再委託業務は受託しない旨の宣言」の承認を得た（平成 30 年 11 月 9 日 臨時総会 承認）
- ②管内市へ土地家屋調査士業務の説明及び要望を行った

6. 戸籍謄本等職務上請求書の使用について

- ・注意文書を月例通信に載せ指導した

7. その他

- ①土地家屋調査士法施行規則第 39 条の 2 の規定による調査を実施した
- ②事務局職員の面接及び選考をした（9 月 26 日より勤務）

財務部

1. 優良図書等の紹介、斡旋

2. 福利厚生共済関係

- ①労働災害補償制度パンフレットの配布
- ②役員に会務上の事故に対する賠償保険（交通傷害保険）加入

3. 中間会計監査の実施

- ・10 月実施予定だったが、臨時総会準備のため、開催できなかった

4. その他

- ・会議室用椅子・テーブル、書庫を購入（老朽化のため入替）

業務部

1. 支部別懇談会の実施

- ・留萌支部 支部別懇談会（於：丸喜寿司）

2. 業務研修会の実施

〔第1回 業務研修会〕

- ①「外国人からの申請」 講師：上村(修一郎)部長

- ②「相続人からの表示に関する登記手続」

講師：表示登記研究会 藤田委員長、広瀬・堀・上村(修一郎)・山田各委員

〔司法書士会・土地家屋調査士会 合同研修会〕

「所有者所在不明土地問題を考える」

講師：早稲田大学大学院法務研究科 山野目章夫 教授

3. CPDの管理

4. 表示登記研究会の開催

- ・研究会3回開催

広報部

1. 月例通信の発行（毎月）

2. 地区別広報活動の実施

3. カレンダーの作成及び配布

4. 無料相談会の実施

5. 広報グッズの作成検討

- ・車用マグネットシートを作成した（70枚）

6. ホームページの管理

旭川境界問題相談センター

- ・オンライン申請利用促進連絡協議会に出席

旭川境界問題相談センター

1. 「旭川境界問題相談センター」の運営

- ・事前相談件数9件（内、正式相談件数0件）

2. 研修会の実施

〔第1回 ADR研修会〕（弁護士参加型判別研修）

3. 筆界特定制度と調査士会ADRとの連携

- ・筆界特定制度と土地家屋調査士会ADR制度の今後の連携方策に係る協議会に出席

4. 関係機関（法テラス等）との連携

令和元年度 旭川土地家屋調査士会 事業計画

総務部

1. 会員の指導及び連絡に関する事項
2. 会則、諸規則・規程の見直し及び制定
(本会の危機管理マニュアルの制定について検討)
3. 旭川境界問題相談センターの運営に対する支援
4. 会館の維持管理
5. 再委託・分離発注への対応

財務部

1. 優良図書の紹介・斡旋
2. 福利厚生共済関係
3. 中間会計監査の実施 (10月頃実施予定)

業務部

1. 支部別懇談会の実施
2. 業務研修会の実施
3. CPDの管理
4. 表示登記研究会の開催
5. 調査・測量実施要領の全面改訂への対応

広報部

1. 月例通信の発行
2. カレンダーの作成及び配布
3. 無料相談会の開催
4. 広報グッズの作成検討
5. ホームページの管理

旭川境界問題相談センター

1. 「旭川境界問題相談センター」の運営
 - ・センター業務に関与する者の研修
 - ・広報部との連携によるPR活動の推進
 - ・他会センター等との意見、情報交換
2. 筆界特定制度と調査士会ADRとの連携
3. 関係機関(法テラス等)との連携